

美浦村長 中島 栄 様

むらづくりに関する提言・要望

美浦村議会議長 下村 宏

美浦村議会議員会長 沼崎 光芳

議会は、昨年7月に行われたJ A茨城かすみ、J A稲敷の両農協及び農業者団体代表との一般会議に続き2月5日に第3回の一般会議を開催しました。一般会議は、直接村民より村政に関する要望を聴き、それを議会として政策提言するべく、意見交換を行い、議会全体で検討した上で、その提言・要望を村政に反映させられるよう立案することを目的としたものである。

今回は、村内に有する企業で構成する美浦工業クラブの会員と「美浦村の今後の展望と課題」について意見交換を行い、様々な意見・要望を受け取ることが出来た。

その意見・要望は、すべてにおいて喫緊に取り組むべき課題として、今後協議・検討が必要なものばかりであった。

今回の提言を美浦村の今後のむらづくり推進に、反映するよう下記のとおり提言・要望する。

記

【1】インフラの整備について

- 圏央道の開通は、美浦村にとっても大変効果のあるものである。地域の活性化や企業誘致を推進するには、阿見東インターチェンジまでのアクセス道路の整備が急務であり、早急に検討すること。
また、先月完成した江戸崎パーキングエリアにスマートインターチェンジの設置を要望し、そこまでのアクセス道路についても、同様に検討すること。
- 早期開通が期待される国道125号線バイパスの完成予定を積極的に周知し、多くの企業の耳に届くような体制づくりを確立すべきである。
- 県道稲敷阿見線のような交通量が非常に多く、また通学路にも関わらず、歩道が整備されていない道路がある。若い子育て世代が村内企業に勤め、安心安全に子どもを育てて行くためには、早急な整備が必要である。
- 公共交通について近隣市町と協力し、より充実した施策を検討し、現在ある路線バスの増便を関係機関に積極的に働きかけること。

【2】人材育成について

- 村内の企業は、若い人材を確保するため求人を出すのが、なかなか集まらない。若者の美浦村離れが非常に目立つ。学業のため美浦村を離れた若者が、美浦村に戻って就職できるよう商工会などと協力して、就職面接会等の施策を検討すべきである。
- 若い世代が美浦村に残りたい、または戻ってきたいとなるためには、美浦村を魅力ある村にしていくべきと考える。むらづくりの推進と同時に、子どもの頃から美浦村の魅力を伝え、郷土を愛する心を育てる教育環境を整備すべきである。

【3】その他

- 企業に対する助成について、積極的に周知し、利用しやすい体制づくりを確立されたい。

平成26年8月12日

以上